

この案内は2013年産米の放射能検査が終了した2013年10月下旬に作成しました。<http://www.kurose.com/>
今後、追加の情報がある場合は、ホームページなどでお知らせします。
検査結果（本お知らせ）は、贈答用のお米・お餅にも同封して贈り先様へお届けしております。

放射能対策と検査結果について（2013年）

～すべての放射能検査が終了しました～

放射能検査の結果、放射性物質は不検出。安心してお召し上がり頂けるお米をお届けします。

いつも黒瀬農舎をご利用頂きありがとうございます。

今年も新米を収穫し、皆さまにお届けできる時期となりましたが、福島第一原発の事故に伴い、今年も引き続き、外部機関に委託し放射能検査を行いました。

その結果、全7検体すべて放射性物質は不検出でした。

今年も安心してお召し上がりいただける新米をお届けすることができます。

皆様のご支援に深く感謝致します。

なお、黒瀬農舎でのこれまでの取り組みや、検査状況の詳細は以下の通りです。

■原発事故後からの状況

原発事故以降、外部機関に委託し継続して黒瀬農舎のお米の自主検査（検出限界1 Bq/kg, 2011～2012年計15検体）を行っておりますが、すべて不検出となっています。

また、秋田県や農協などによる検査でも、大潟村を含む秋田県内のお米で放射能が検出されたことはありません。

■今年度の取り組み（有機肥料の放射能検査）

肥料などでの放射能汚染を防ぐため、今年3月に、今年度使用する予定の有機肥料の放射性物質の検査を行いました。その結果、購入予定の県外産の原料を使った肥料から微量ですが放射性セシウムが検出されました。

そのため、放射能が検出された資材は使用せず、汚染されていない代替資材に変更しました。

■新米の検査結果（2013年産米）

あきたこまち（3検体）、もち米（杵搗き切り餅原料）、自然栽培ササニシキ、古代米、米ぬかの計7検体で検査を行いすべて不検出でした。（検出限界1Bq/kg）

また、秋田県による大潟村を含む全県69力所で収穫された玄米の検査でもすべて不検出でした。

■今後の取り組み～来期の有機肥料の検査～

今後使用する有機肥料などの資材は、今年と同様に、原材料の調達先の確認や放射能検査などを実施することで、汚染された資材の圃場への持ち込みを防ぎます。

■情報の公開

黒瀬農舎では、これまでも栽培方法などをできる限り公開し、お客様自身で情報を判断し、納得した上で購入頂けるように取り組んできました。

放射能問題でも同様に、できる限りの情報収集と開示を行います。今後の追加情報については、ホームページや、お米に同封する通信などでお知らせ致します。

同位体研究所
放射能（核種）検査報告書 59891

依頼者名：ライスロッヂ大潟・黒瀬農舎 殿 結果報告日：2013年9月24日

報告書番号：RIN13QBB010NR1

株式会社 同位体研究所
代表取締役 堀 章
横浜市鶴見区北広町1-11-40
TEL:045-718-9451 FAX:045-942-4859

試料名：あきたこまち 玄米 圃場名H21

検体特記事項：試料名は依頼者記載

検体量：>2kg

検査及び判定法：厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。（定量下限 1 Bq/kg にての核種測定）

分析結果：Ge定量

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	玄米	ND	Bq/kg	0.7 Bq/kg
Cesium-134	国内は、合算検出値	ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
Cesium-137	玄米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
放射性セシウム計	玄米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
定量下限値：測定時にバックグラウンド等を勘案した測定時定量下限値
（検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が測定値で高くなる場合がある）

放射能検査に関する注記：
本測定は、「緊急時モニタリング計画」における食品の放射線測定・分析に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素（I-131）、放射性セシウム（Cs-134、Cs-137）の放射線核種を測定する。
本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、測定時間を延長の上、確定検査を行う。
測定装置：CAMBERRA GC2020
測定容器：2Lポリリタ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、UB型容器にて実施。

放射能（核種）検査報告書



これからも、黒瀬農舎へのご支援をよろしくお願い致します。

ライスロッヂ大潟 提携米・黒瀬農舎 黒瀬 正

〒010-0445 秋田県南秋田郡大潟村西1丁目4-7

TEL:0185-45-3088 FAX:0185-45-2887 mail:akita@kurose.com

<http://www.kurose.com/>

提携米 黒瀬農舎

検索

2013年産米のすべての検査報告書は次ページにてご確認頂けます。

2013年10月28日作成
Ver.2R2 web用

放射能(核種)検査報告書


同位体研究所
ISOTOPE RESEARCH INSTITUTE

放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッヂ大潟・黒瀬農舎 殿
 結果報告日: 2013年10月25日

報告書番号: RIN13JBB010NR1

試料名: あきたこまち(特) 玄米

株式会社 同位体研究所
 代表取締役 堀 章
 横浜市鶴見区末広町1-1-40
 横浜市産学共同研究センター内
 TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
 検体量: >2kg

検査及び
 判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg にての核種測定)
 分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	玄米	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	玄米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
 定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
 (検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)


同位体研究所
ISOTOPE RESEARCH INSTITUTE

放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッヂ大潟・黒瀬農舎 殿
 結果報告日: 2013年10月25日

報告書番号: RIN13JBB011NR1

試料名: あきたこまち(減) 玄米

株式会社 同位体研究所
 代表取締役 堀 章
 横浜市鶴見区末広町1-1-40
 横浜市産学共同研究センター内
 TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
 検体量: >2kg

検査及び
 判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg にての核種測定)
 分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	玄米	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.6 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	玄米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
 定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
 (検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)


同位体研究所
ISOTOPE RESEARCH INSTITUTE

放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッヂ大潟・黒瀬農舎 殿
 結果報告日: 2013年10月25日

報告書番号: RIN13JBB014NR1

試料名: あきたこまち 米ぬか

株式会社 同位体研究所
 代表取締役 堀 章
 横浜市鶴見区末広町1-1-40
 横浜市産学共同研究センター内
 TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
 検体量: >2kg

検査及び
 判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg にての核種測定)
 分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	糠	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	糠	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
 定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
 (検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)


同位体研究所
ISOTOPE RESEARCH INSTITUTE

放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッヂ大潟・黒瀬農舎 殿
 結果報告日: 2013年10月30日

報告書番号: RIN13JHH002NR1

試料名: もち米 キヌノハダ 玄米

株式会社 同位体研究所
 代表取締役 堀 章
 横浜市鶴見区末広町1-1-40
 横浜市産学共同研究センター内
 TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
 検体量: >2kg

検査及び
 判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg にての核種測定)
 分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	玄米	ND	Bq/kg	0.7 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.6 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	玄米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
 定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
 (検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)


同位体研究所
ISOTOPE RESEARCH INSTITUTE

放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッヂ大潟・黒瀬農舎 殿
 結果報告日: 2013年10月25日

報告書番号: RIN13JBB012NR1

試料名: 紫黒米 あさむらさき 玄米

株式会社 同位体研究所
 代表取締役 堀 章
 横浜市鶴見区末広町1-1-40
 横浜市産学共同研究センター内
 TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
 検体量: >2kg

検査及び
 判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg にての核種測定)
 分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	玄米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
放射性セシウム計	玄米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
 定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
 (検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:
 本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
 本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
 測定装置: CANBERRA GC2020
 測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U8型容器にて実施。


同位体研究所
ISOTOPE RESEARCH INSTITUTE

放射能(核種)検査報告書

59891

依頼者名: ライスロッヂ大潟・黒瀬農舎 殿
 結果報告日: 2013年10月25日

報告書番号: RIN13JBB013NR1

試料名: 自然栽培 ササニシキ 玄米

株式会社 同位体研究所
 代表取締役 堀 章
 横浜市鶴見区末広町1-1-40
 横浜市産学共同研究センター内
 TEL:045-718-5457 FAX:045-502-4555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載
 検体量: >2kg

検査及び
 判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe γ線スペクトロメーターによる核種測定。(定量下限 1 Bq/kg にての核種測定)
 分析結果: Ge定量1

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	定量下限値
Iodine-131	玄米	ND	Bq/kg	0.8 Bq/kg
Caesium-134	国内は、合算規制値	ND	Bq/kg	0.9 Bq/kg
Caesium-137		ND	Bq/kg	1.0 Bq/kg
放射性セシウム計	玄米	ND	Bq/kg	

測定値がNDと表記の場合、定量下限値にて検出なし(Not Detected)を意味する。
 定量下限値: 測定毎にバックグラウンド等を踏まえた測定時定量下限値
 (検体量及び検体中の核種状態により、定量下限値が実測定で高くなる場合がある)

放射能検査に関する注記:
 本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、ゲルマニウム半導体検出器により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。
 本測定時は、定量下限値の2/3を検出下限とし、定量下限値未満、検出下限値以上の検出がある場合においては、想定時間を延長の上、確定検査を行う。
 測定装置: CANBERRA GC2020
 測定容器: 2Lマリネリ容器を使用する。ただし、検体量が不足する場合、U8型容器にて実施。

2013年9月～10月に行った玄米・米ぬかの検査結果報告書(残り1部は1ページ目に掲載)

ヨウ素131、セシウム134・137の測定値はすべての検査結果で ND(Not Detected=不検出)でした。
 (検出限界 各1Bq/kg以下)